



身を削る

校長 小林 克彦

朝晩の冷え込みがだいぶ厳しくなってきました。令和元年もあと一ヶ月です。

「身を削る」とは、自らの身を挺する(削る)ほどの努力を表す慣用句です。それほどの苦勞をしたという意味で使います。身を削るほどの努力や苦勞は、簡単にできるものではありません。

さて、子供たちの身近な生活の中で「削る」というと、鉛筆のことを思い浮かべると思います。子供たちは、毎日家庭学習が終わると、明日の時間割や連絡帳を確認しながら、教科書やノートをランドセルにしまいます。そして、筆箱の中を確認し、先の丸くなった鉛筆を削り、筆箱におさめます。今でこそ電動の鉛筆削りで簡単にそしてきれいに削ることができますが、昔はナイフを使って削っていました。はじめは恐る恐るナイフを扱いました。力が弱すぎても削れません。力を入れすぎると芯はすぐに折れてしまいます。きれいに先をとがらせるためには、繊細な指さばきが必要となります。文字を書くことは、人間らしい行動の一つといえますが、そのためには鉛筆を削るという手間を必要としました。

鉛筆は、自分自身の身を削り、文字が書けなくなるまで短くなると、新しい鉛筆にその役割を譲り、使命を終わります。電動の鉛筆削りが登場したときは、感動したのを覚えています。面白くてうれしくて、何本の鉛筆を無駄にしてきたのか恥ずかしい限りです。誰でもきれいに先のとがった鉛筆が当たり前になっています。しかし、身の回りでは鉛筆を使う機会は減り、筆記用具の主役はシャープペンシルやボールペンへと様変わりしました。中学校の学習の中で、鉛筆を使っている姿は幻となっており、全員と言っていいほどシャープペンになっています。だからこそ、小学校では鉛筆を使うとともに、正しい鉛筆の持ち方を指導し続けているのです。校長室の中にも長さが3cmほどの色鉛筆がたくさんとってあります。なかなか捨てることができません。

鉛筆が削られる様から、人のために身を削る尊さに触れることも、大切な教育だと思います。

今月の行事予定 (12月)

1	日		17	火	体力カード回収
2	月	持久走月間始 委員会活動	18	水	4時間授業
3	火	保護者会5・6年	19	木	
4	水	4時間授業	20	金	
5	木	安全指導 保護者会3・4年	21	土	
6	金	保護者会1・2年	22	日	
7	土		23	月	
8	日		24	火	大掃除・持久走月間終
9	月	クラブ活動	25	水	終業式・給食終
10	火		26	木	冬季休業日始
11	水	4時間授業(市内研究会のため4時間授業)	27	金	
12	木	レビュータイム	28	土	3学期の始業式は1月8日(水)です。 9日(木)から給食がはじまります。 その日は全校4時間授業です。
13	金	体力カード配布	29	日	
14	土		30	月	
15	日		31	火	
16	月				*12月の避難訓練は、予告なしで行います。

5年生 社会科見学

11月21日、5年生は「明治なるほどファクトリー」へ社会科見学に行きました。働く人々の努力や工夫、願いなどを知ることができました。板チョコが作られる製造ラインを見ながら感動していました。「ガーナとかエクアドルからカカオがくるんだ」「そこでカカオを取る仕事をしてる人がいるんだよね」「このチョコレートを作るために機械を作っている人もいるんだよね、で、またその機械を作るための部品を作ってる人もいるんだよね！」見学する中で、ものづくりには、いろいろな人が関わっていて、いろいろな思いが込められていることを感じたようです。



2年生

☆町探検☆



2年生は、「自分たちの住んでいる町のお店を探検して、お店の工夫を見つけよう」をテーマに、生活科の学習で町探検を行いました。初めての経験で緊張しながらも、お店の方々に一生懸命インタビューする姿からは、自分たちの目標に向かって努力する気持ちが見られました。

学習の最後は、グループごとに劇やクイズ形式にまとめて、自分たちが見つけたお店の工夫や、お店の方の願いを表現することができました。保護者のボランティアの皆様、付き添いをしていただきありがとうございました。

☆遠足☆

11月1日、稲荷山公園へ1、2年生合同遠足に行ってきました。天候に恵まれポカポカと暖かい日射しのなか、鬼ごっこや縄跳びなどで体を沢山動かしました。学年に関係なく、仲良く声を掛け合って遊ぶ姿が見られ、どの子にとっても良い思い出になったことと思います。



11月の学校の様子



パレード集会



市民まつりパレード



展覧会

風邪の流行る季節です。手洗いうがいをしっかりと、睡眠・栄養もしっかりとることが大切です。体調の悪いときは、無理をさせず、早めに休養をさせてください。